

## 平成 23 年度南加賀地域家族支援講演会 「言葉ひとつで変わることがある」 ～当事者も家族も支援者もみんなが元気になる方法～

3 月 17 日（土）小松ドームにおいて平成 23 年度南加賀地域家族支援講演会が開催されました。今年度は家族会の中から「家族や支援者などにできる身近な支援はないか？」との声が上がり、SST リーダーでご活躍中の高森信子先生をお招きし「言葉かけひとつで変わることがある。～当事者も家族も支援者もみんなが元気になる方法～」と題して講演して頂きました。

前半では当事者の方から「つらい」と打ち明けられた時に、受け手側が「そう、つらいのね」と相手の言葉に「の」を付けて返す。という「の」の字の哲学を教えて頂きました。これを使うことで『同意』ではなく『共感』の言葉で返すことができる。ここがポイントだそうです。そして「今のあなたでいいのよ」「生きているだけで立派なのよ」と、あるがままをそのまま受け止め認めてあげること。このような言葉かけこそが当事者の方を安心させ、健康な部分を成長させていく大切なものであるということでした。後半の質疑応答では質問者が壇上に上がり高森先生とロールプレイを行うなど、興味深い内容となっていました。

障がいをお持ちの方は「生きづらさ」という荷物を背負っている状態にあります。進むスピードも歩幅も思い通りにいかないことや、周囲への気遣いに対しても生きづらさを感じることがあるでしょう。『相手をありのまま、全てを受け入れる』。まずはみなさんも「の」の字の哲学を心に留めて、同意ではなく共感の気持ちで言葉かけをしてみませんか？（木村）

### 高森 信子先生のプロフィール



小学校や幼稚園の教師を経て子どものこころのアートセラピストとして、幼児・学生の美術教育に 15 年携わる。1985 年よりカウンセラーとして活動を始め、その後、東京大学ディホスピタルでの SST リーダー研修を経て、89 年より地域作業所、保健所のデイケア、家族会等で当事者や家族のための SST リーダーとして活躍中。

### 編集後記



爽やかな風が吹き、緑の眩しい季節になりました。  
田んぼに水が張られると、蛙が大きな声で鳴っていました。  
能美市「はまかぜ」がついにオープン。  
その名のよう、能美市に新たな風を吹かせたいです・・・。（富樫）

編集人：社会福祉法人なごみの郷  
連絡先：〒923-0851

石川県小松市北浅井町 123  
TEL(0761)23-7232  
FAX(0761)23-7284

E-mail：[iruka@d4.dion.ne.jp](mailto:iruka@d4.dion.ne.jp)

ホームページアドレス

<http://www.nagomi-no-sato.or.jp>

発行人：北陸障害者定期刊行物協会（富山市今泉 312）

定価 50 円



H S K 每月十二回  
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認  
（一・三・五・八・十・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日）発行

増刊 HSK  
なごみ通信

今月の花：花ミズキ  
  
No37 2012. 4

### 御挨拶

能美市中ノ江町（旧保育園跡）にて地域の障がいを持たれた方々を対象に「能美地域活動センターはまかぜ」を開所する運びとなりました。

能美市との話し合いを続けて 2 年余、能美市はもとより、日本財団や関係各位の御支援を頂き、今日の開所を迎える事になりました。又、何よりも力になりましたのは、地元中ノ江町の皆様の御理解を頂いた事であり、心から感謝申し上げる次第であります。

私共は「地域で障がいのある人達が自立して、未来に向かって希望の道を歩む事」を目標としています。「能美地域活動センターはまかぜ」では、この目標に向け就労継続支援事業（B 型）と地域活動支援センター事業を行う中で、職員一同これまでの経験を生かし利用者の方々を懸命にサポートして地域の皆様と共に歩んで行く所存であります。

ご家庭でひきこもっておられる方や家族の皆様、どうぞ私どもにご相談下さい。医療や福祉が日々進歩を続けている中、必ず明るい希望の道が開けて来ます。又、地域の皆様には障がいを持たれた方々へのご理解を頂き、今後とも温かく見守り育てて下さい様お願い申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。

社会福祉法人 なごみの郷  
理事長 小杉 修

### 能美地域活動センターはまかぜ



“はまかぜ”から見た白山



“はまかぜ”玄関



“はまかぜ”



作業風景



印刷作業



多目的室

# めざせ一般就労



ある雪の日の、通勤姿の今立氏

- ・一般就労をしたいと思ったきっかけは何ですか？  
病院を退院する時から人並みの生活をしたいと思っていたこと。
- ・やわたメディカルセンターで働いてみてどう感じましたか？  
とてもいい職場だと思いました。
- ・どのような仕事をしているのですか？  
調理で汚れた鍋やお釜、ボールやザルの洗浄や栄養部内の清掃です。
- ・働いている最中に体調や調子が悪くなった時はどう対応していますか？  
職場の主任に言って、休憩を頼んで休憩を取ったり、休憩では回復しないようなら帰らせてもらったりしています。

大変だったことなど  
教えてください！  
今立さん！



- ・働いていて楽しいと思う事は何ですか？また、働いて不安に思う時がありますか？  
楽しい時：給料がもらえる時。  
不安に思う時：自分の事を見えてくれるのでそんな事はないと思うが、長く働いてリーダーのようになる（皆の面倒を見る）ことは出来ないと思うので、そういう事が不安。
- ・仕事をしていてやりがいを感じる時はどんな時ですか？  
1日の仕事をやり終えた時。
- ・ケアホームで一人暮らしをされていて、仕事と食事・洗濯の両立はどうですか？  
なんとかやっています。
- ・働いていてどういった言葉が心に残っていますか？  
働き始めの頃、知らない人ばかりの中で、「今立さん、おはよう。」「今立さん、さようなら。」と言ってくれた人がいた。

その時、嬉しかった。（取材：江端）

## 春の日の食談会 メンバーさんの感想♪

平成 24 年 3 月 3 日

春の日の食談会は、当事者の方・ご家族の方・地域のボランティアの方々が、集い、一緒に準備をし、共に食事をしながら楽しいひとときを過ごす行事として毎年この時期に開催されます。長い冬を越えて訪れる春のようにあたたかくお互いのつながりを確かめあえるようなそんなすてきな“ある春の一日”でした。（小川）

おいしくなりますように！  
ここを込めてワクワク・ドキドキ！



東日本大震災被災者の方々を想い黙禱



素適な笑顔を  
ありがとう♥

ゲームで1位  
を取れたのが嬉  
しかった。  
藤本氏

コーヒーゼリー  
が美味しかった。  
bingoゲーム楽  
しかった。  
小泉氏

コーちゃんのマジックに、拍手喝采！



浴衣着て楽しく踊れました。大豆ご飯も赤飯も弁当も美味しかった。  
全体として温かい（ホッとな）感じがしました。  
吉村氏

炭坑節が上手く踊れた。もっと（ご飯を）食べたかった。吉倉氏



食事美味しかった。あっという間に過ぎた。楽  
しかった。来年もこんな風にして欲しい。  
山岸（外）氏  
とても良かった。ご飯美味しかった。  
阿字地 氏

## PART II

H S K 每月十二回  
一九九四年八月四日  
第三種郵便物承認

◇ジョブガイダンス全日程を5人の方が受講され

ハローワーク小松所長 石田 淳様より修了証をいただきました◇

平成 24 年 1 月 25 日 (水) 1 日目

職業準備について  
・病気との付き合い方  
講師：ハローワーク金沢 障害者雇用トータルセンター 岡田絵里奈 氏



受講生の声

- ・規則正しい生活をして  
睡眠を十分とるようにしたいです。
- ・心の疲れをとる話しを聞いて良かった。

平成 24 年 2 月 1 日 (水) 2 日目

企業が求める職業準備について  
講師：石川障害者職業センター障害者職業カウンセラー 林田 彩 氏



受講生の声

- ・職業準備が大事で就職するにあたり色々な支援があることがわかり、ジョブコーチ支援を是非活用しオープンで仕事を探そうと思った。

平成 24 年 2 月 8 日 (水) 3 日目

事業所見学  
・障がいのある方が働くときにどんな事が大事ですか  
講師（株）みどりの森 小山 氏



受講生の声

- ・仕事は厳しいと思ったが職員の方がやさしい人だったので自分も働いてみようと思った。
- ・食べ物を扱っているので衛生面に気をつけていると思った。

平成 24 年 2 月 15 日 (水) 4 日目

ハローワーク小松に行ってみよう！  
実際に求人票をみるとにチャレンジ  
修了証授与



受講生の声

- ・自宅の近くのところにも求人があり、早く元気になって働くと思った。
- ・職業準備をして、ハローワークのナビ等を使って一般就労をしたい。
- ・就職活動の参考になりました。

懐かしい・あたたかいハーモニカ演奏に  
やさしい風が吹きました

